

■ タイトル

敷鉄板が 玉掛治具から外れ落下、右足を被災

■ 基本情報〔土木・建築〕

災害発生日	2010年 1月			
災害属性	被災程度	人災	被災者属性	-
被災者	職種	-	年齢	- 歳
	経験年数	- 年	就労日数	- 日
災害情報	型別	飛来・落下	起因別	敷き鉄板
機械属性	機種	ラフタークレーン	能力	25 t
	仕様	-	その他	-

■ 事故・災害発生状況

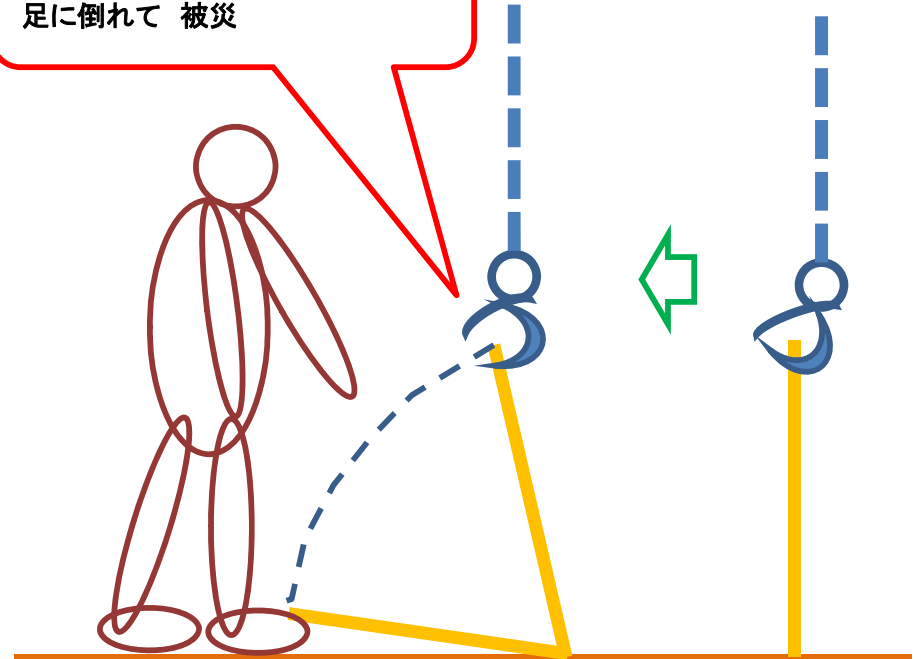
鋼矢板（シートパイル）打設工事において、道路上の敷鉄板（1,500×3,000 0.9t）を25tラフタークレーンで吊って移動させるため、被災者が敷鉄板に吊りフックを掛け吊り上げたが、上部に架空電線があるためブームを縮めた際、敷鉄板が地面に着いて斜めになり吊りフックが外れて被災者の右足先に倒れ被災した。

■ 発生要因（WG想定含む）

- ①吊りフックのロックが掛からず、外れ止めが開いたと思われる。
- ②吊り上げ時に、吊りフック外れ止めの状態を確認していなかった。
- ③吊りフックの点検をしていなかった。
- ④（右足首の痛みのため、）安全長靴をやめて普通の長靴を履いていた。
- ⑤被災者が吊り荷（敷鉄板）から離れた位置に退避しなかった。

■ 発生状況図

鉄板が地面に着いて 斜めになり
フックが外れて被災者の
足に倒れて 被災



■ 再発防止対策（WG想定含む）

- ①吊りフック等吊り治具は、持ち込み時及び始業前に点検を行う。
- ②鉄板を吊り上げる際は、「地切り」で吊りフックと外れ止めの掛かり具合を確認する。
- ③鉄板の揚重作業時は、吊荷から3m程度離れる。
- ④作業打合せ時、KY時に〈敷鉄板吊り作業〉の有無を確認し、実行する災害防止対策を決める。